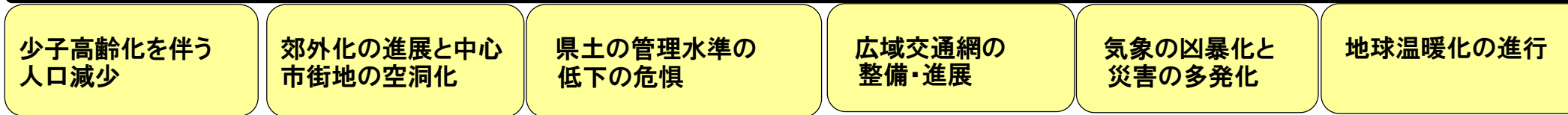


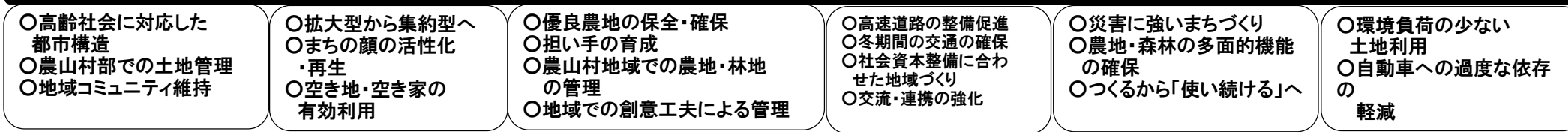
山形県国土利用計画(第四次)素案の概要

資料1

県土利用をめぐる基本的条件の変化



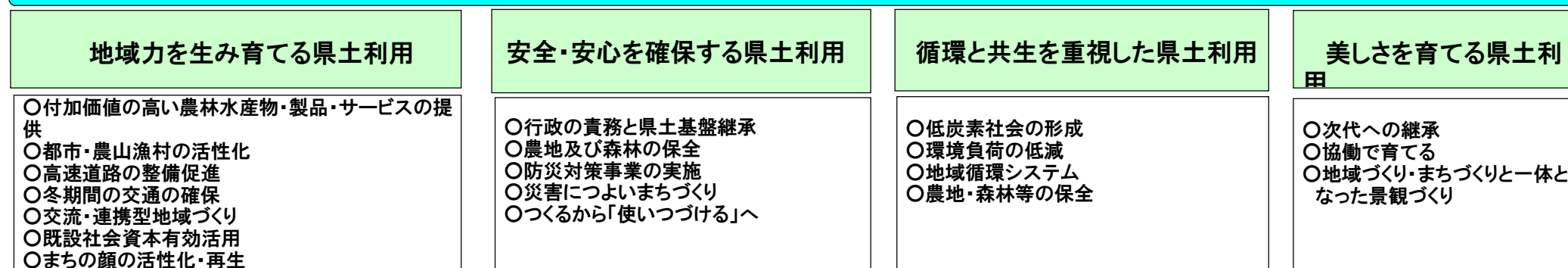
検討課題



基本目標

持続可能な県土の形成
《拡大型の土地利用から集約型の土地利用へ》

県土利用の基本方針



県土利用の総合的マネジメント

◆ 県民参画・県民との協働 ◆



地域別の概要

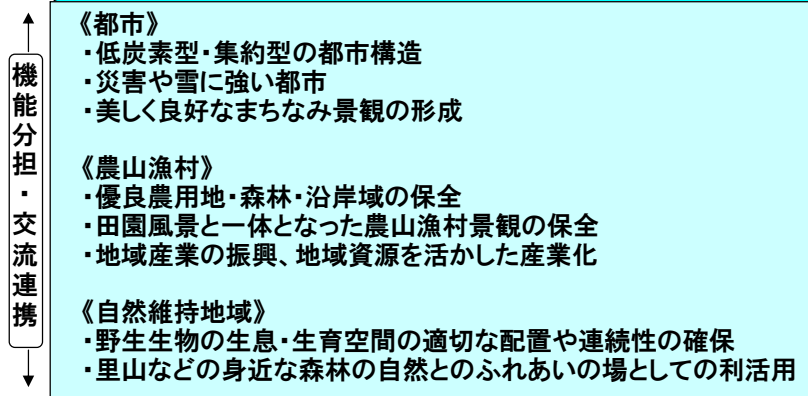
《村山地域》
都市的利便性を享受でき、農村環境や自然環境をも大切に活かしていく「都市と農村が共鳴しあい、様々な県民活動が展開される新たな田園都市圏の形成」を目指す

《最上地域》
主産業である農業を活かしつつ、厚みのある産業づくりと互助・共助に根ざした「生いきいきと豊かなライフスタイルが実現できる地域の形成」を目指す

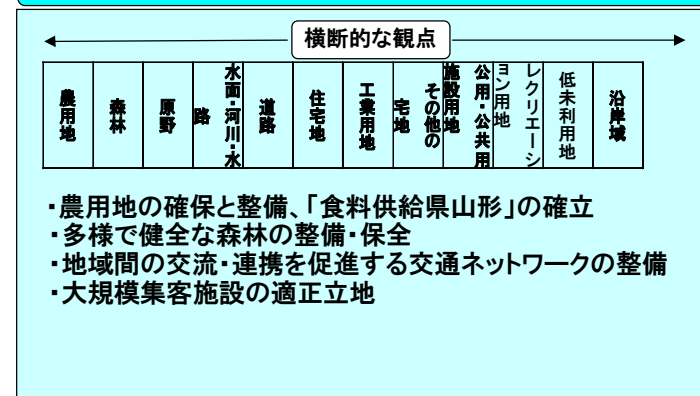
《置賜地域》
当地域の伝統・文化・風土・環境・産業を活かした「伝統・文化が実を結び、人々が支え合い輝き、力強い産業が根を張る魅力ある地域の形成」を目指す

《庄内地域》
自然を敬い、公益の心を大事にし、創意工夫を凝らしながら仕事に取り組むという庄内の姿を守りながら、「海・山・平野と歴史が育んだ文化・産業と新たな胎動が融合した新しい地域モデルの創造」を目指す

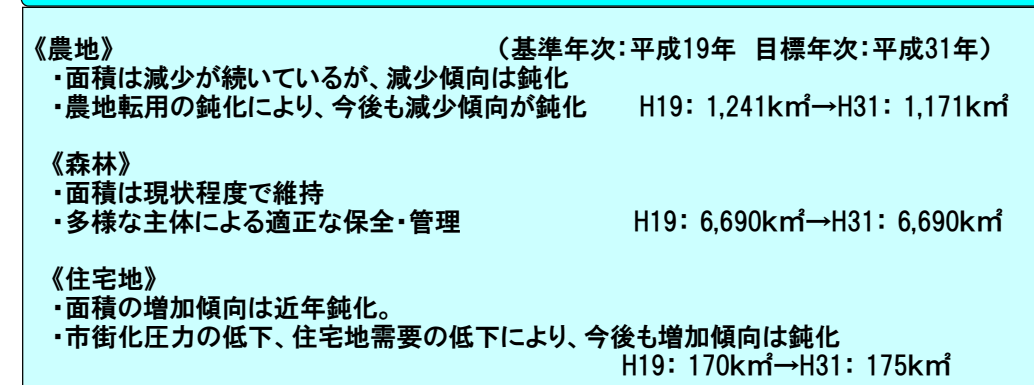
地域類型別の基本方向



利用区分別の基本方向



利用区分別の規模の目標



必要な措置の概要

